

第3章 戦略が目指すもの

1 戦略の目標

- 「いしかわ健康フロンティア戦略」では、活力ある高齢社会の実現に向けて、誰もが寝たきりや認知症などにならず、生涯にわたり元気で自立した生活を営むことができるよう「健康寿命」の延伸を目指します。このため、地域ごとのきめ細やかな対策を進めます。
- 健康寿命の目標値については、平均寿命と健康寿命の差に着目し、平均寿命の延び以上に健康寿命を延ばすことを目標とします。

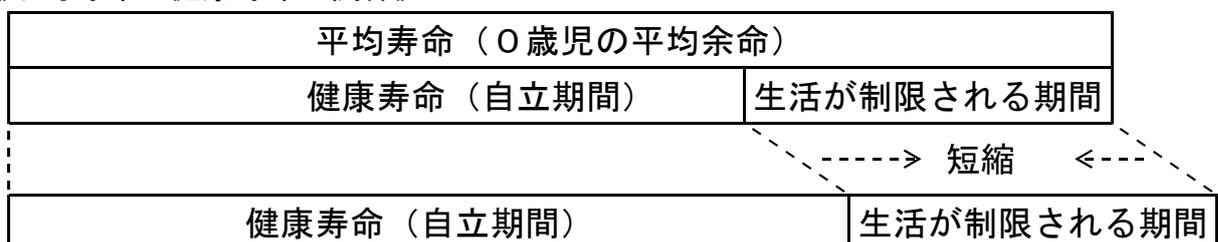
○ 健康日本21（第2次）では、健康寿命を「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義し、生命表と国民生活基礎調査（アンケート調査）の結果をもとに算出しています。

○ 本戦略では、これまで介護保険認定者数（要支援以上）を使用し、独自に健康寿命を算出してきましたが、健康日本21（第2次）の中で初めて健康寿命の算出方法や現状値が示されたことから、国が示す方法を目標値とし、当分の間、従来の方も参考とします（従来方式については9頁参照）。

●健康寿命の現状値（国が示す算出方法によるもの）

	健康寿命（H22）	平均寿命（H22）	要介護期間	目 標
石川県 男	71.10歳	79.75歳	8.65歳	平均寿命の増加 を上回る健康寿 命の増加
全 国 男	70.42歳	79.55歳	9.13歳	
石川県 女	74.54歳	86.81歳	12.27歳	
全 国 女	73.62歳	86.30歳	12.68歳	

《平均寿命と健康寿命の関係》



- 健康に関する指標を地域別にみると次のような較差があることから、地域差の縮小を目標に、その原因や背景等について地域診断を行い、地域の実情を踏まえた対策を推進します。

〈健康に関する指標（例示）〉

	特定健診 受診率 (H22)	特定保健指導 実施率 (H22)	80歳で20歯 以上の者 (H23)	介護認定率 (H22)	喫煙習慣者 (女性) (H23)
南加賀地域	40.5%	34.3%	41.8%	17.5%	7.9%
石川中央地域	41.8%	33.0%	32.6%	16.1%	8.2%
能登中部地域	42.1%	45.7%	14.9%	18.2%	4.9%
能登北部地域	32.0%	32.1%	16.0%	17.2%	5.6%
金 沢 市	31.9%	8.6%	22.4%	20.4%	8.2%
地 域 差	10.2%	37.1%	26.9%	4.3%	3.3%

- がんや脳卒中等による早世を防ぐため、健診（検診）による早期発見、早期治療や生活習慣病の発症予防、重症化予防対策の充実、強化等により、健康に関する指標の地域差の縮小を図ります。

2 戦略の位置付け

本戦略は、健康増進法第8条に基づき、都道府県が策定する健康増進計画、及び歯科口腔保健の推進に関する法律第13条に基づく歯科保健計画とします。

策定にあたっては、「石川県医療計画」、「石川県医療費適正化計画」、「石川県がん対策推進計画」、「石川県長寿社会プラン」との整合性を図るものとします。

3 戦略期間

戦略期間は、平成25年度から平成29年度までの5年間とします。